

出水ツルの越冬地

しいのき しんいち
椎木 伸一さん
ほり まさのぶ
堀 昌伸さん

栃木市の会議でラムサール自治体デビュー

「おおっ、地球が丸いことを思い出した」。遊水地の高さ約20mの空に、熱気球の係留飛行でふわり浮かぶと、ヨシ原や地平線が一望。鹿児島県出水市長の私、椎木伸一（写真上の左）は、思わず感動の声を上げました。

この日、全国から集い、遊水地を視察（同右下）した市町長らが次々に搭乗。栃木市の「湿地の賢い利用策」を楽しみつつ、「観光客を呼べるアクティビティー」が自らの市町でも生かせないか、ヒントを探します。

昨年10月20日、「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」が、会長市の栃木市で開かれました。会議で、「国内最大のツルの越冬地」として昨年末に登録されたばかりの出水市が、大川秀子会長から新規会員として紹介され、「仲間入りを」と挨拶してデビュー。全国の登録湿地は53カ所、関係市区町村が71になりました。

2日目の「交流・学習会」。当市に、もう一度出番が。テーマの一つが、ラムサール事務局の新しい制度。「湿地」だけでなく、市町村をまるごと「ラムサール条約湿地自治体」に認証します。当市はいち早く湿地登録と併せて申請し、今回、新潟市とともに国内で初認証されました。



事例報告（写真左下）で「ツルは人里で冬を越し、共生には地域の理解が不可欠。一方、ツルの越冬地として市全体をブランド化すれば、観光などで地域の発展が期待できます」と説明。耳を傾けてもらいました。

私、堀昌伸（写真上の右）は出水市ラムサール推進室長です。会議は、北海道から沖縄まで全参加自治体が発言、栃木市を舞台に交流と連携の輪が広がりました。参考になることが多い、持ち帰り生かしていきます。



For

愛する家族

誰のために
つくるのか？

家づくりが“もて”
愛おしいものになる。

MARUWA・丸和住宅
J Y U T A K U

丸和住宅のくわしい情報は

丸和住宅



お電話でのお問い合わせは マルワ ヨイイ工

0120-08-4118

受付時間／9:00～18:00 定休日／毎週火曜日・水曜日

住所 〒328-0043 栃木県栃木市境町23-26

